

NEWS 絆

東北生産性本部

令和4年度 仙台シンポジウム10月例会開催

不確実性の時代の財政経済政策

令和4年度 仙台シンポジウム10月例会は、慶応義塾大学経済学部教授 土居 丈朗氏を講師にお迎えし、約60名の参加を得て開催いたしました。

■ 10月例会（令和4年10月12日開催）

講師 慶応義塾大学経済学部教授 土居 丈朗 氏

1993年大阪大学経済学部卒、99年東京大学経済学博士。東京大学社会科学研究所助手、慶應義塾大学経済学部専任講師、財務省財務総合政策研究所主任研究官等を経て、2009年慶應義塾大学経済学部教授。政府税制調査会、財政制度等審議会、産業構造審議会等の委員を務める。専門は財政学、公共経済学、政治経済学。日本経済新聞の「経済論壇から」に定期的に寄稿。



【ご講演要旨】

不確実性の時代の財政経済政策における日本の対応のあり方について、分かりやすくご解説いただきました。

- 「アベノミクス」の評価について
- 通貨を出回らせて経済活性化について
- 岸田政権の政策形成について
- インフレ時代の成長戦略について
- 合法的「独占」による利益確保について
- 2020年代前半の財政運営について
- 国債金利はほぼゼロだから大丈夫!?
- 2020年代の税制のグランドデザインについて
- 2024年は社会保障制度の岐路について

以上、大変有意義なご講演ありがとうございました。

令和4年度 仙台シンポジウム

【今後の開催予定】（テーマは、いずれも仮題）

11月例会 11日10日(木) 13時30分～15時
「顧客満足第一の北海道のライフライン『セイコーマート』」
（株）セコマ 代表取締役会長 丸谷 智保 氏
会場：TKPガーデンシティ仙台（アエル30階）

12月例会 （日程調整中※）
「2023年世界の潮流を読む」
（一財）日本総合研究所会長 寺島 実郎 氏
会場：未定

※ 12月例会の日程につきまして、現在、講師と調整を行っておりますが、12月開催を見送り、2月または3月の開催日程で調整を進めております。調整が出来次第、改めてご案内をさせていただきます。ご案内が遅くなり大変申し訳ございませんが、ご理解を賜りますよう、よろしく願いいたします。